

一般社団法人才オールネーションズ / 相模原市まち・みどり公社 共催
第8回東日本大震災復興支援チャリティーマッチ実績報告書



Official Home Page URL:
<http://anbb2011.com/>

Official Facebook Page URL:
<https://www.facebook.com/weareballone>

ALL NATIONS（旧野球狂の会）とは？ We are (B)all one!! (ボール一つから繋がる奇跡！！) を合い言葉に集まった野球を愛するメンバーです。野球に狂うほど情熱があるのなら国籍も人種も関係ない！！ということで日本はもちろん、アメリカ、カナダ、オーストラリア、オランダ、メキシコ、ドイツ、フランス、チェコ共和国、韓国、台湾、中国などでワールドワイドに野球をプレーした経験を持つ選手たちの集まりです。

2018年12月1日

以下の通り、第8回東日本大震災チャリティーマッチの御報告をいたします。

2011年3月11日に東北沖にて発生した東日本大震災の被害は今もなお大きな爪痕を残しており、本当の復興までにはまだ多くの時間要すると伺っています。

私たちAll Nationsは、野球人が集まり、野球人だからこそできる事で何か復興に貢献することはできないかと考え、震災のあった年に第1回目の旧野球狂の会チャリティーマッチを開催しました。当時は千葉県の小さな河川敷グラウンドで行われたこのイベントも、毎年回を重ねるごとに協賛企業様はじめ多くの方々のご協力をいただけけるようになり、2018年は相模原市教育委員会のご後援を得てサーティーフォー相模原球場にて第8回東日本大震災復興支援チャリティーマッチを開催させていただきました。当日集まりました募金は相模原市の友好都市である岩手県大船渡市へ寄付させていただき、Tシャツなどの売上げの一部は現地で開催する野球教室のために使用させていただきます。

【当日イベント概要】

1. 開催日：2018年12月1日（土）

2. 開催場所：サーティーフォー相模原球場（神奈川県相模原市）

3. 共催：一般社団法人才オールネーションズ / 相模原市まち・みどり公社

4. 後援：相模原市教育委員会

5. 協賛：（株）BML、ピーエスエス（有）、（株）IBリーダーズ、紫染屋、
（株）一光スポーツ、（株）チェリオコーポレーション

順不同

6. 総動員数：約 580 名

7. タイムスケジュール：別紙参照添付

出場メンバー

【監督】

- ・三好 貴士（MLB 傘下 エリザベストン・ツインズ コーチ）

【コーチ】

- ・萩島 賢（フェデックス 元監督）
- ・坂梨 広幸（オーストリア代表監督）
- ・清水 広貴（中国 四川ドラゴンズ）

【投手】

- ・大島 崇仁（三重スリーアローズ）
- ・荻野 忠寛（千葉ロッテマリーンズ）
- ・島内 博史（カナダ トロワリビエール・セインツ）
- ・山本 淳（埼玉西武ライオンズ）
- ・坂本 弥太郎（埼玉西武ライオンズ）
- ・前沢 力（軟式野球日本代表）
- ・星野 真澄（読売ジャイアンツ）

【捕手】

- ・植松 泰良（MLB サンフランシスコ・ジャイアンツ ブルペン捕手）
- ・松下 一郎（横浜 DeNA ベイスターズ）

【内野手】

- ・肥田 貢次（群馬ダイヤモンドペガサス）
- ・安田 裕希（米アトランティックリーグ サザンメリーランド・ブルークラブス）
- ・宮寺 匡広（米パシフィックアソシエーションリーグ ナパ・シルバーラードス）
- ・奈良 雄飛（福島ホープス）
- ・小倉 信之（福島ホープス）
- ・川岸 幸之助（ハーキマー大学）
- ・山田大晴（ドミニカ ベースボールアカデミー）

【外野手】

- ・田久保 賢植（チェコ共和国 フロッシ・ブルノ）
- ・井戸川ゆうた（香川オリーブガイナーズ）
- ・クーニン（野球 YouTuber）

～主な活動内容～

① 企業・支援者の協賛

チャリティーマッチの趣旨をご理解いただいた企業・支援者様から協賛金や物品提供をしていただきました。試合前・試合中には協賛・支援していただいた企業や支援者様をアナウンスでご紹介させていただきました。

② Web広告・告知用チラシの作成

ポスター・フライヤーを作成し、参加選手や支援者様のブログ、SNSでの拡散・告知を行いました。また自治体や球場、市内外の小中学校、協賛いただきました店舗等において、ポスター掲載をさせていただきました。

③ 募金活動・チャリティーマッチ用ティーシャツの販売

チャリティーの一環として募金箱を設置し、来場者や参加者の皆様には募金をお願いしました。また、当イベント用にチャリティーTシャツを作成し、販売しました。 (詳細は下記をご参照ください)

④ ファンサービス

試合終了後にグランド内でサイン会、撮影会、及び交流会を実施。

⑤ 音楽付きの選手紹介

選手が打席に入る際やマウンドに上がる際に、その選手が希望する曲を入場曲として流しました。また、イニング間やイベント最中にも音楽をかけ、球場全体をエンタテイメント性の高い空間へと作り上げました。

⑥ フリーANAウンサー松本秀夫氏によるイベント進行

ニッポン放送ショウアップナイターでおなじみの松本秀夫氏にスタジアムDJとして試合進行を行っていただきました。普段味わうことのできない、海外さながらのボールパークの空気を演出し、皆様に体感していただきました。

⑦ All Nations VS 神奈川クラブ連合 によるチャリティーマッチ

神奈川県の社会人クラブ全12チームから選抜メンバーを集め、All Nationsとの試合(チャリティーマッチ)を行いました。日本のプロ野球だけでなく、普段は見ることのできない海外プロ野球リーグなどでプレーした選手たちの技術を披露しました。

⑧ 野球教室の開催

当日ご来場いただいた少年野球チーム、中学生を対象に野球教室を実施いたしました。MLB傘下で現役のコーチとして活動している三好貴士をはじめ国内外のプロ野球で活躍した選手たちの経験をもとにメニューを組み、約2時間熱のこもった指導を参加者たちにさせていただきました。

⑨ フィジカルチェックの実施

3Dセンサーなどを活用した「フィジカルチェックシステム」により、野球少年や選手など約150名の柔軟性や筋力を計測・評価しました。計測・評価にはNECのスタッフなど10名の専門家にお願いし、参加者全員が自分の状態を把握して今後のが予防に役立てていただけるように丁寧に説明をしていただきました。

⑩ 横断幕やのぼりで球場内演出

協賛ご協力いただいております方より事前に出場選手の横断幕・のぼりを作成していただき、球場内外をアレンジしました。

⑪ 世界のユニフォーム展実施

世界各地でプレー経験があるメンバーが過去に所属していたチームのユニフォームを展示。世界には様々なユニフォームがあり、国ごとに個性が出ている展示物にお客様は大変興味を持って御覧いただきました。

⑫ 「さがみん」の参加

相模原市のマスコットキャラクターである「さがみん」を会場に招待し、イベントを盛り上げてもらう為に協力していただきました。特に子供達には大変人気で、募金活動にも積極的に参加してもらい当イベントに多大な貢献をしていただきました。

※球場で販売をしたチャリティーTシャツです。

2018 バージョン チャリティーTシャツ



～当日の募金、物品販売実績～

・支援金総合計：101, 276 円

【内訳】

募金総額：63, 276 円

チャリティーティーシャツ売上：38, 000 円

～ チャリティーマッチ当日の様子 ～



ALL NATIONS 代表 三好 貴士 挨拶



試合前風景



松本秀夫氏



オールネーションズ ブース



観覧席（世界のユニフォーム展示）



試合風景 ①



試合風景 ②



試合風景 ③



イニング間イベント



野球教室 ①



野球教室 ②



野球教室 ③



VS K

■ALL NATIONS
国内外のプロ野球経験者、
現役プロ野球選手が集結。

■神奈川クラブチーム連合
神奈川県内のクラブチーム
が集結。

試合終了後、小中学生を対象に野球教室を開催!!
プロの野球選手から直接指導を受けられます!

We Are
[B]
all one

※写真は昨年出場メンバーより



12/1 sat

開場 9:30 試合開始 11:00

サーティーフォー相模原球場 入場料 無料 ※球場内で募金をお願いしています。

第8回 東日本大震災復興支援 2018

チャリティーマッチ

※当日は、試合終了後に野球教室（申込不要・野球道具持参）
など参加型のイベントやグッズの販売・展示も行います。

共催 一般社団法人 オールネーションズ TEL 050-5276-2167
公益財団法人 相模原市まち・みどり公社

後援 相模原市教育委員会

<https://www.facebook.com/weareballone>
 <https://twitter.com/weareballone>